

交通事故分析 インフォメーション



死亡・重傷リスクが高いのは どんな事故？

(その②：事故類型)

交通事故でけがをした時、発生場所や時間、事故形態等により、死亡する・重傷を負う割合は変わってきます。

どのような交通事故が、死亡・重傷リスクが高くなるのでしょうか。

今回は、事故類型について調査しました。

※過去5年（H30年～R4年）の交通事故データをもとに分析、数値は5年間合計数

※死亡・重傷化率 = (死者数 + 重傷者数) / 死傷者数



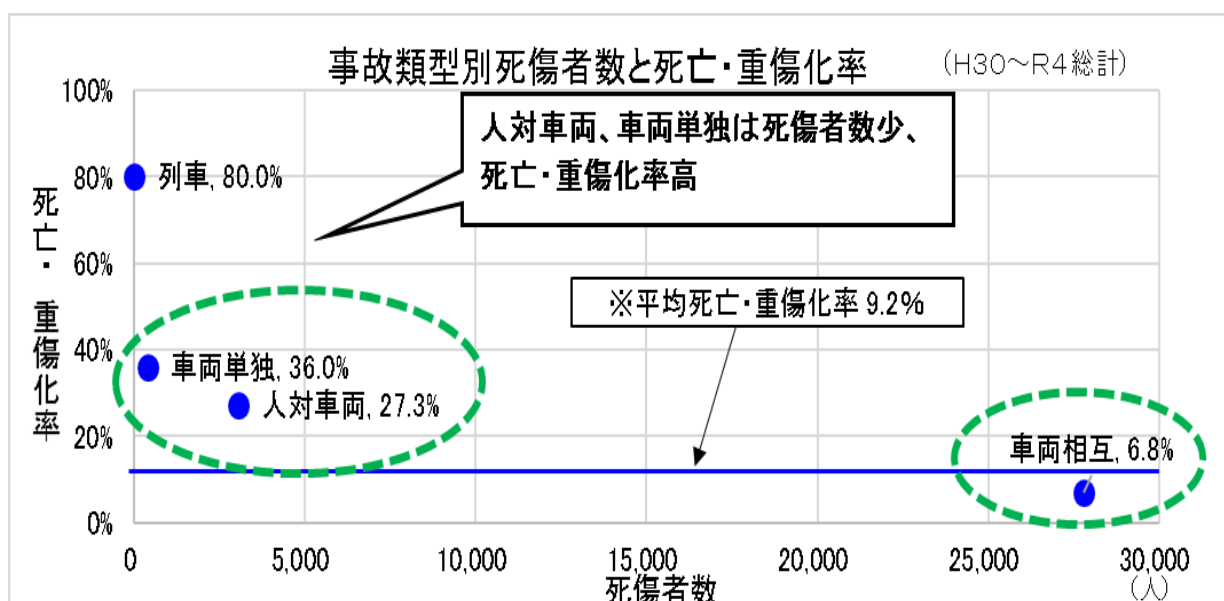
事故類型別

車両相互の事故は、死傷者数は多いですが、死亡・重傷化率は平均より低くなっています。

人対車両の事故、車両単独の事故は、死傷者数は少ないですが、死亡・重傷化率は高くなっています。



人対車両の事故、車両単独の事故は危険！



それぞれの事故類型について、さらに細かく調査した結果は次のとおりです。



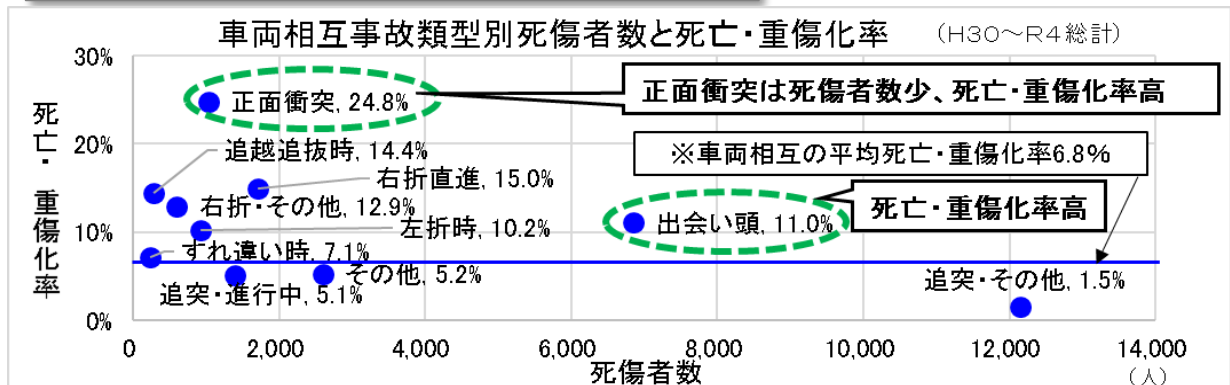
車両相互事故の詳細

出会い頭は、死傷者数が多く、死亡・重傷化率も高くなっています。

正面衝突は死傷者数は少ないですが、死亡・重傷化率は高くなっています。



出会い頭、正面衝突は危険

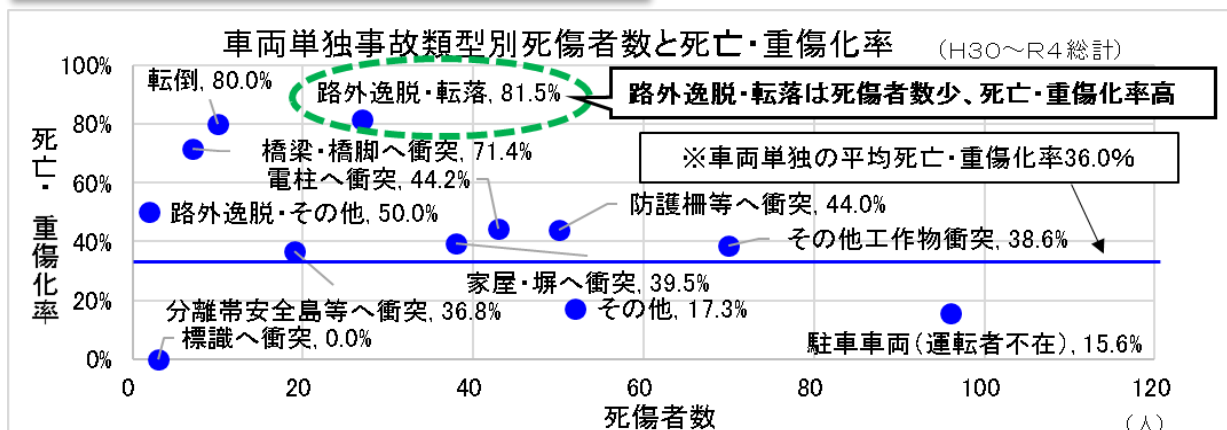


車両単独事故の詳細

路外逸脱・転落は死傷者は少ないですが、死亡・重傷化率は高くなっています。



路外逸脱・転落は危険！



人対車両事故の詳細

横断中・その他(横断歩道以外を横断中)は、死傷者数は多く、死亡・重傷化率も高くなっています。

路上横臥(ろじょうおうが: 路上への横たわり)は、死傷者数は少ないですが、死亡・重傷化率は高くなっています。



横断中・その他、路上横臥は危険！

